

令和3年度（2021年度）事業報告書



全日本大学対抗・トラック／美鈴湖競技場



全日本大学対抗・ロード後 総合表彰／群馬 CSC



明治神宮外苑大学クリテリウム



全日本学生選手権トラック 鳥取県倉吉自転車競技場



全日本学生ロードレース カップ シリーズ
霊峰木曾おんたけラウンド



JICF 国際トラックカップ



インターネット配信

日本学生自転車競技連盟
Japan Intercollegiate Cycling Federation



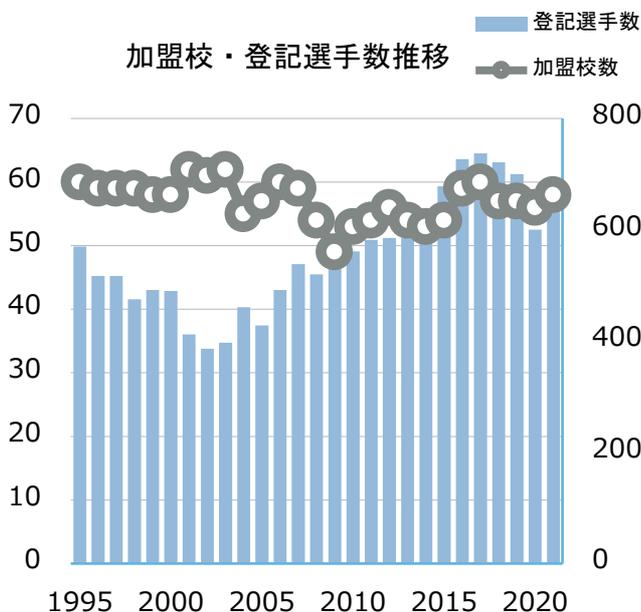
1 はじめに

令和3年度（2021年度）は、前年度より取り組んでいる新型コロナウイルスの感染防止対策を継続しつつ、可能な範囲で学連の各事業についても従来通りに回復して実施することを目指して行いました。前年度には開催できなかった各選手権大会を開催することが出来ましたが、全国各地で開催するロードレースカップシリーズは、開催地の感染状況をふまえて相談のうえ計8戦を開催しました(6戦は中止)。また、トラックレースシリーズは当初計画通り計4戦を開催し、前年度より開始したリモートを活用したe-Race選手権大会は第2回目の大会を開催しました。さらに、2021年度に開催された東京オリンピック2020大会では、本連盟出身選手である梶原悠未選手が女子オムニウムで銀メダルを獲得するという朗報もありました。コロナ禍の影響で一昨年度までに比べると、まだ一部の大会中止や大会参加選手数の減少はありますが、各大会や事業は確実に回復基調にあります。

2 加盟校数・登録選手数等の推移

2021年度は、加盟校は58校で前年より2校の増加、登録選手数も641名で前年の600人から41名の増加となりました。前年はコロナ禍で大会参加が難しく加盟や登録を控えた状況から回復しつつあると考えられますが、まだ今後それら学校の再加盟、登録の促進を行いつつ、引き続き加盟校・登録選手の増加に向けた努力が必要と考えております。(引き続き、将来的に100校・1000名となることを目標としています) また、学連所属の審判員登録は76名、チームアテンダント登録は20名で、審判員は減少傾向となりましたが、選手数とともにこれら登録者の増加も併せて必要と考えております。

(2021年度のJCF登録競技者：7,769名、JCF審判員登録2,485人、チームアテンダント1,533人)



西暦	平成/令和	加盟校	男子選手	女子選手	選手計	評議員	賛助会員	審判員登録	アテンダント登録
1995	7	60			570	264		140	
1996	8	59			517	270		114	
1997	9	59	479	38	517	261			
1998	10	59	441	34	475	270			
1999	11	58	461	31	492	278	83	135	
2000	12	58	449	31	490		81	180	
2001	13	62			412	317	85	176	
2002	14	61			386	323	79	151	
2003	15	62			397	323	110	148	
2004	16	55	429	32	461	323	99	133	
2005	17	57	395	33	428	323	76	144	
2006	18	60	469	23	492	349	89	161	
2007	19	59	505	33	538	351	88	154	
2008	20	54	498	22	520	326	83	128	
2009	21	49	521	25	546	328	77	125	
2010	22	53	531	30	561	355	59	121	
2011	23	54	552	30	582	354	63	92	
2012	24	56	552	33	585	354	61	98	
2013	25	54	555	31	586	357	66	90	
2014	26	53	559	36	595	352	60	100	
2015	27	54	643	35	678	352	82	123	
2016	28	59	692	36	727	353	68	118	
2017	29	60	698	39	737	353	68	110	43
2018	30	57	679	42	721	377	79	80	13
2019	31	57	656	44	700	361	66	111	50
2020	2	56	562	38	600	346	54	98	20
2021	3	58	608	33	641	353		76	20

東日本（静岡・長野・新潟以東）

CODE	都道府県	学校名	加盟	男子	女子	計
1	北海道	北見工業大学				0
		札幌学院大学				0
		北海道大学	1	8	0	8
		室蘭工業大学				0
		北海商科大学				0
		北海道科学大学				0
2	青森	八戸大学				0
		八戸工業大学				0
		八戸学院大学	1	5	2	7
3	岩手	富士大学				0
4	宮城	東北学院大学	1	9	0	9
		仙台大学	1	3	0	3
5	秋田					0
6	山形	山形大学				0
		東北芸術工科大学				0
7	福島					0
8	茨城	筑波大学	1	5	0	5
		流通経済大学				0
9	栃木	宇都宮大学				0
		作新学院大学	1	19	0	19
10	群馬	高崎経済大学	1	1	0	1
11	埼玉	獨協大学				0
		駿河台大学				0
		立正大学				0
12	千葉	順天堂大学	1	9	5	14
		中央学院大学				0
		明海大学				0
		木更津工業専門学校				0
13	東京	学習院大学	1	3	0	3
		慶應義塾大学	1	21	0	21
		駒澤大学	1	11	0	11
		芝浦工業大学				0
		東京都立大学				0
		成蹊大学	1	4	0	4
		大東文化大学	1	3	0	3
		中央大学	1	19	0	19
		東京大学	1	17	0	17
		東京工業大学	1	6	1	7
		東都医療大学				0
		東洋大学	1	6	0	6
		二松学舎大学				0
		日本大学	1	63	2	65
		一橋大学	1	5	0	5
		法政大学	1	25	5	30
		明治大学	1	16	1	17
		明星大学	1	19	0	19
		立教大学	1	7	0	7
		早稲田大学	1	11	2	13
14	神奈川	神奈川工科大学	1	1	0	1
		東海大学	1	15	0	15
		日本体育大学	1	26	3	29
		防衛大学校	1	9	0	9
		明治学院大学				0
15	新潟	新潟大学	1	4	1	5
		新潟食料農業大学	1	21	1	22
16	山梨	山梨学院大学	1	1	0	1
17	長野	信州大学	1	10	1	11
		長野大学	1	1	0	1
		松本大学	1	1	0	1
18	静岡					0
東日本小計			34	384	24	408

西日本

CODE	都道府県	学校名	加盟	男子	女子	計
19	富山					0
20	石川	金沢大学	1	5	0	5
		北陸大学				0
18	福井					0
21	岐阜	朝日大学	1	43	0	43
23	愛知	星城大学				0
		愛知大学	1	12	0	12
		愛知産業大学				0
		中京大学	1	5	0	5
		名古屋産業大学				0
		南山大学	1	1	0	1
24	三重					0
25	滋賀					0
26	京都	京都大学	1	7	0	7
		京都産業大学	1	14	1	15
		京都府立医科大学				0
		同志社大学	1	15	3	18
		立命館大学	1	14	1	15
		龍谷大学	1	12	0	12
27	大阪	大阪大学	1	7	0	7
		大阪経済大学	1	8	0	8
		大阪工業大学	1	10	0	10
		大阪産業大学	1	14	0	14
		大阪市立大学				0
		大阪府立大学				0
		大阪医科薬科大学	1	2	0	2
		追手門学院大学				0
		関西大学	1	16	0	16
		近畿大学	1	6	0	6
		摂南大学				0
28	兵庫	神戸大学	1	3	0	3
		関西学院大学	1	3	0	3
29	奈良					0
30	和歌山					0
31	鳥取	鳥取大学				0
32	島根					0
33	岡山	岡山大学				0
		環太平洋大学				0
34	広島					0
35	山口					0
36	徳島	徳島大学	1	2	0	2
37	香川					0
38	愛媛	松山大学				0
		愛媛大学	1	1	0	1
39	高知	高知工科大学				0
40	福岡	福岡工業大学				0
		久留米大学				0
		九州大学				0
41	佐賀					0
42	長崎					0
43	熊本					0
44	大分	大分大学				0
45	宮崎	宮崎大学				0
46	鹿児島	鹿屋体育大学	1	24	4	28
		志学館大学				0
47	沖縄	名桜大学				0
		沖縄国際大学				0
西日本小計			22	224	9	233

全国合計

56	608	33	641
校	男子	女子	合計

3 大会の実施と参加者の推移

前述の通り、令和3年度（2021年度）は、計画されていた各種大会を可能な限り開催することが出来たため、大会参加者のべ人数は 昨年の 1578 名から 3251 名へ大幅に増加/回復しました。さらに次年度は例年に近い状態で大会を開催予定であり、参加人数が増加する見込みであります。今後も年間を通じた大会数・参加機会の確保は競技活動の基本であり、引き続き コロナ禍における感染対策を図ったうえで、各都道府県連盟や地方自治体との連携、協賛企業の協力を仰ぎつつ、競技参加機会の確保につとめ、同時に開催地域における自転車競技振興への寄与を図っていく必要があります。

令和3（2021）年度 日本学生自転車競技連盟 事業実施報告														2022.3.31	
月	日	曜日	大会名等	NAME OF THE EVENT	種別	当番校・主催	副当番校	男子	女子	OPEN	合計	会場等	VENUE		
			学連主催選手権大会等												
			全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ												
			全日本学生トラックレース・シリーズ												
			会議等												
令和3（2021）年度															
4	13	火		第1回理事会	会議								リモート		
4	17-18	土・日		全日本学生RCS第1戦 第14回菜の花飯山ラウンド(2日間クリテリウム) (中止)	ロード	実行委員会							長野県飯山市		
5	3-4	祝		全日本学生TRS第1戦	トラック	強化普及委員会		159	0	1	160		長野県・松本市美鈴湖自転車競技場		
5	3-4	祝		第22回JICF女子カップ (トラック)	トラック	立教・鹿屋	日本	0	7	3	10		長野県・松本市美鈴湖自転車競技場		
5	4-5	祝		第60回 東日本学生選手権トラック自転車競技大会 EAST JAPAN STUDENT TRACK	トラック	日本	中央・東学	150	14	0	164		長野県・松本市美鈴湖自転車競技場		
5	8-9	土・日		第39回 西日本学生選手権トラック自転車競技大会 WEST JAPAN STUDENT TRACK	トラック	西日本		76	1	0	77		奈良県・奈良競輪場		
5	11	火		第2回理事会	会議								リモート		
5	16	日		第22回JICF女子カップ (ロード) +RCS#1 JICFオープンロード JICF WOMENS CUP ROAD	トラック	立教・鹿屋	日本	186	10	9	205		群馬県・群馬サイクリススポーツセンター		
5	30	日		第22回 全日本学生選手権クリテリウム大会 STUDENT CRITERIUM CHAMPIONSHIPS TOKYO	ロード			77	10	0	87		東京都・大井埠頭		
6	5	土		第59回 全日本学生選手権 チーム・ロード・タイムトライアル大会 UNIV. TEAM TIME TRIAL	ロード	東京・順天	慶應・日体	99	0	0	99		埼玉県加須市・羽生市 利根川河川敷		
6	6	日		全日本学生選手権 第32回全日本学生個人ロードTT自転車競技大会 UNIV.STUDENT INDIV. T.T.	ロード	東京・順天	慶應・日体	169	7	2	178		埼玉県加須市・羽生市 利根川河川敷		
6	15	火		第3回理事会	会議								リモート		
6	19	土		全日本学生RCSOPEN戦 草津ナイトレース (クラス3のみ)	ロード	西日本学連		103	0	0	103		滋賀県		
6	19-20	土・日		第2級審判講習会	会議	審判委員会							東京・JSOSビル+リモート		
6	22	火		第1回評議員会	会議								リモート		
6	26-27	土・日		第61回 全日本学生選手権トラック自転車競技大会 UNIV.STUDENT TRACK CHAMPIONSHIPS	トラック	早稲田	東京・順天	199	18	4	221		鳥取県・倉吉自転車競技場		
7	3-4	日		JICF INTERNATIONAL TRACK CUP & 第5回全日本学生選手権オムニウム大会 UCI CLASS-2	トラック	法政	明治・朝日	62	7	23	92		長野県・松本市美鈴湖自転車競技場		
7	10-11	土・日		全日本学生TRS第2戦	トラック	強化普及委員会		163	8	1	172		山梨県・現川自転車競技場		
7	17-18	土・日		全日本学生RCS第2戦・第15回 白馬クリテリウムラウンド	ロード			223	2	3	228		長野県・白馬町特設サーキット		
8	13-15	金・日		文部科学大臣杯 第76回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会 Intercollegiate championships	TRACK	明治・朝日	早稲田	186	22	0	208		長野県・松本市美鈴湖自転車競技場		
8	21-22	日			ROAD	明治・朝日	早稲田	157	20	0	177		群馬県・群馬サイクリススポーツセンター		
9	7	火		第4回理事会	会議								リモート		
9	18-19	土・日		第36回 全日本学生選手権個人ロードレース大会 UNIV. STUDENT INDIV. ROAD RACE	ロード	慶應・日体	立教・慶應	181	10	1	192		群馬サイクリススポーツセンター		
10	9	土		全日本学生RCS第xx戦 琵琶湖クリテリウムラウンド (中止)	ロード	西日本							滋賀県東近江市ふれあい公園		
10	10	日		TRS第3戦	トラック	強化普及委員会		54	0	0	54		山梨県・現川自転車競技場		
10	24	日		第56回 全日本学生自転車競技トラック新人戦・西日本大会	トラック	西日本		41	1	0	42		大阪府・岸和田競輪場		
10	24	日		第56回 全日本学生自転車競技トラック新人戦・東日本大会	トラック	中央・東学	法政	83	6	0	89		山梨県・現川自転車競技場		
10	30-31	土・日		全日本学生RCS第3-4戦 (仮称) 霊峰木曾おんたけTT&ヒルクライム・ラウンド	ロード	実行委員会		102	0	9	111		長野県木曾郡玉滝村		
11	7	日		全日本学生RCS第5戦 大島・三原山ラウンド	ロード	実行委員会		10	0	0	10		東京都大島町		
11	12	金		第5回理事会	会議								リモート		
xx	xx	日		全日本学生RCS第xx戦・浮城のまち行田クリテリウムラウンド (中止)	ロード								埼玉県行田市・運動公園前		
11	20	土		全日本学生RCS第6・群馬CSCクリテリウムラウンド1	ロード			92	0	0	92		群馬県・群馬サイクリススポーツセンター		
xx	xx	日		全日本学生RCS第xx戦 東海道どまんなか袋井ラウンド (中止)	ロード								静岡県袋井市 エコバ		
xx	xx	日		全日本学生RCS第xx戦・埼玉ステージレース第1ラウンド (中止)	ロード	審判委員会							埼玉県・幸手工業団地内 (予定)		
2022年															
1	15	土		第6回理事会	会議								東京地区		
1	15	土		第2回 全日本学生選手権自転車競技e-レース大会	eロード			4	0	3	7		web上レース		
1	xx	日		全日本学生RCS第xx戦・埼玉ステージレース第2ラウンド (中止)	ロード	審判委員会							埼玉県川島町		
2	13	日		全日本学生RCS第7戦・埼玉県川島町小見野クリテリウム	ロード	審判委員会		121	0	0	121		埼玉県川島町		
2	23	水・祝		全日本学生TRS第4戦	トラック	強化普及委員会		50	4	0	54		関東地域		
2	26	土		大学自転車フォーラム	会議								東京地区		
2	27	日		全日本学生RCS最終戦・第16回明治神宮外苑大学クリテリウム	ロード			227	15	56	298		東京都・明治神宮外苑		
3	12	土		第2回評議員会/第7回理事会	会議								東京地区		
凡例：RCS：ロードレースカップ・シリーズ、TRS：トラックレースシリーズ。								2,974	162	115	3,251		日本学生自転車競技連盟		

4 選手権大会の開催

本連盟の「感染対策ガイドライン（無観客大会、選手及び関係者には14日前からの検温や体調管理を義務付ける、入場時の検温チェック、会場での各種感染防止策を実施）」に則り感染対策を図ったうえで、各種選手権大会を開催することが出来ました。

・全日本大学対抗選手権（インカレ）

長野県松本市 美鈴湖自転車競技場（屋外333m）で8月13～15日にトラック競技を、8月21～22日に群馬県利根郡みなかみ町 群馬サイクルスポーツセンターでロードレース競技を開催しました。コロナ禍の環境下ではあるものの、トラック競技には男子184名と女子22名、ロード競技には男子157名と女子20名のエントリーが集まり、2年振りに選手権大会としてのインカレ開催となりました。

男子はトラック総合成績最上位が中央大学、ロード総合成績最上位が日本大学、総合優勝は日本大学でした。女子はトラック総合成績最上位が法政大学、ロード総合成績最上位が鹿屋体育大学、総合優勝は鹿屋体育大学でした。「高木秀彰賞（インカレロードレースの男・女各々の優勝者のチームへ授与）」は、男子は 谷内健太選手=京都産業大学、女子は 石上夢乃選手=鹿屋体育大学 が受賞しました。

・全日本学生選手権個人ロードレース大会

9月18～19日に、群馬県利根郡みなかみ町 群馬サイクルスポーツセンターでの開催となりました。（当初は長野県木曽郡木祖村での開催を検討しつつ、開催地と協議した結果 当年度の開催は困難なため、会場および日程を変更して開催）女子は 渡部春雅選手/明治大学、男子は 佐藤宇志選手/明星大学 が優勝しました。

・全日本学生選手権トラック大会

鳥取県倉吉市 倉吉自転車競技場（屋外333m）で開催されました。2年振りの選手権大会となりましたが、各種目を例年通りに開催して熱戦が繰り広げられました。また、男子に加えて女子マディソンも開催され、今後さらなる学連選手のレベルアップが期待されました。近い将来行われるワールドマスターズゲームに向けた運営確認も行われました。

・全日本学生チームロードタイムトライアル大会

例年と同様、埼玉県加須市・羽生市の利根川河川敷にて、スタート・フィニッシュ地点を「おとね童謡のふるさと室」前として開催されました。当場所で2010年より開催を継続しており、首都圏近郊でのチームロード開催地として定着して参りました。参加は17チーム、距離=63.2kmで競技が行われ、中央大学が優勝しました。

・全日本学生個人ロードタイムトライアル大会

例年と同様、チームロードの翌日に同場所にて開催されました。参加人数は男子186名、女子8名で、前年の大会（選手権ではない大会として開催）に比べて、大幅に参加者も増加しました。女子は学連最上位である 渡部春雅選手/明治大学、男子は 留目夕陽選手/中央大学 が優勝しました。

・全日本学生選手権クリテリウム大会

ツアーオブジャパンの最終日に東京ステージの会場である大井埠頭にて開催されました。女子は 渡部春雅選手/明治大学、男子は 佐藤健選手/日本大学 が優勝しました。

・全日本学生選手権オムニアム大会

長野県松本市 美鈴湖自転車競技場（屋外333m）で、JICF国際トラックカップと同場所併催にて開催されました。コロナ禍により参加人数は減少しましたが、今後オムニアム種目での学連選手の活躍が期待されます。

・東西学生選手権トラック大会

東日本学生選手権トラック大会は 長野県松本市 美鈴湖自転車競技場（屋外333m）で、西日本学生選手権トラック大会は 奈良県 奈良競輪場（屋外333m）で、それぞれ開催されました。

5 強化・普及大会の開催

・全日本学生ロードレースカップ シリーズ

コロナ禍により一部が中止のため従来と比べて大会数が減少しつつも、感染対策を図ったうえで、計8戦が開催されました。なお 昨年に初めて開催した、長野県木曽郡王滝村での 個人タイムトライアル および ヒルクライムも継続、第2回目の開催となりました。また 例年と同様、明治神宮外苑大学クリテリウムを最終戦として開催しました。

・ロードカテゴリー制

ロード選手のカテゴリーを実力別にクラス1, 2, 3, に分類し、選手権大会の参加資格者が決まる制度も定着してきました。2020年度はロードレースカップシリーズの大会数の減少に伴い、選手権の代替大会については、予選を行ったうえで本戦への参加資格を獲得する形式により実施しましたが、2021年度は、従来通りのロードカテゴリー制度の運用となりました。

・全日本学生トラックレース シリーズ

当初計画通りに計4戦を開催しましたが、第4戦は 千葉県千葉市 千葉JPFドーム（屋内250m）で初めての学連大会を開催しました。

6 国際大会の開催・参加

2016年から長野県松本市で開催している「JICF国際トラックカップ」は、コロナ禍で海外選手の参加数の確保が課題ではありますが、引き続きの継続開催が期待されるところであります。

7 会議・事業運営

本連盟事務局は、前々年度に ジャパン・スポーツ・オリンピックスクエア（千駄ヶ谷）へ移転となりましたが、引き続き、新事務局に於いて大会準備会合などの各種会議を実施し、事業運営を行いました。

但し、毎週水曜日夜の定例会議は、大人数が事務局に集まって「密」状態になることを避けるため、リモート会議で打合せが可能な内容については、事務局へ集合せずに リモートを活用して実施しました。

8 むすび

令和3年度（2021年度）は、コロナ禍においても 感染対策委員会による管理のもとで「感染対策ガイドライン」を運用しつつ、計画されていた各種大会を可能な限り開催して、事業を回復させることが出来ました。今後も引き続き 感染状況を注視しつつ、コロナ禍での安全な事業運営を前提として、各大会開催や選手の強化育成、自転車競技の普及発展などへ一層の努力が望まれるところであります。

日本学生自転車競技連盟2021年度 最優秀選手（トラック/ロード ランキング年間最上位者）

○男子トラック：市田 龍生都（中央大学）

○女子トラック：太郎田 水桜（法政大学）

○男子ロード：谷内 健太（京都産業大学）

○女子ロード：石上 夢乃（鹿屋体育大学）

全日本学生ロードレースカップシリーズ 総合優勝：

中島 渉（立教大学）

日本学生自転車競技連盟

Japan Intercollegiate Cycling Federation

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2

ジャパンスポーツオリンピックスクエア408-2

ホームページ：<https://jicf.info>

電子メール：jicf@remus.dti.ne.jp